



高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短期大学は8年連続でWRC（世界ラリー選手権）オーストラリアラリーに参戦しています。

[チーム](#) 2003 チーム体制

[8/31](#) テストラン

[9/1](#) ワークショップでのラリーカーの仕上げ作業

[9/2](#) ワークショップでのラリーカーの仕上げ作業

[9/3](#) 車検

[9/4 Part I](#) ラリー開幕（チーム撮影）

[9/4 Part II](#) ラリー開幕（SS1）

[9/5 Part I](#) LEG1(SS2-SS10)

[9/5 Part II](#) LEG1(SS2-SS10)

[9/6](#) LEG2(SS11-SS20)

[9/7](#) LEG3(SS21-SS24)ゴール

[▼2003 参戦情報へもどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



高山短大WRC参戦 チーム体制

2003高山短期大学のチーム概要

1号車 SUBARU IMPREZA (ゼッケン113)

遠藤道康 (高山短期大学自動車工学科 卒業生)
加納靖之

2号車 SUBARU IMPREZA (ゼッケン114)

JIM MARDEN ジム・マーデン
GRAY MARSHALL グレー・マーシャル

メカニック 自動車工学科2年生24名

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 23:00 08/31

8/31 学生メカニック、パース入り

高山短大ラリーチームは2003年WRC（世界ラリー選手権）第10戦ラリーオーストラリアに参戦するため、8/30日に成田空港を出発。約10時間のフライトの後、31日（現地時間）午前6時05分、オーストラリア・パース市に到着。休むまもなく、パース市郊外のマンダリングにある「Westec Racing」へ向かい、ラリーカーの最終的な走行チェック「テストラン」を行いました。



パース市郊外のマンダリングにある「Westec Racing」。もともとダートコースのような走るためのコース。



南半球のパースは冬の終りから春に向かう頃。一面の菜の花畑？が周辺に広がります。



コース1周約1km弱を2～3周してサービスイン。これを3～5回くり返して、セッティングを確かめています。



夢にまでみたオーストラリアの大地に本当にやってきた！
いよいよだ、がんばれ学生たち。



1号車スバルインプレッサ。ドライバーは本学卒業生の遠藤道康さん。



2号車スバルインプレッサ。ドライバーは西オーストラリア州の元ラリーチャンピオン、ジムマーデン。



サスペンションの硬さや車高調整など、ドライバーのリクエストをその都度確認して調整していきます。





ゼッケン113、1号車ドライバー遠藤道康さん(手前)と、加納靖之さん(奥)。遠藤さんは高山短大の卒業生。1999年と2000年に続いて3度目のドライバーを務めます。
「とてもいい仕上がり」と調子は良さそう。



ゼッケン114、ジム・マーデンさん(手前)と、グレース・マーシャルさん(奥)。1996年、高山短大の初めての参戦以来、ずっとサポートしてくれていて、2000年からは2号車ドライバーとなり、今年で4年連続でドライバーを務めます。
乾いた路面、濡れた路面と両方用意したタイヤとの相性を少々気にしている様子。
また、走行中にガソリントankに亀裂が生じ、ガソリン漏れが発生。これは明日、ワークショップで対応することに。



隣でテストランをしていた「SUBARU RALLY TEAM AUSTRALIA」から、今は亡きポッサムボーンを引き継いで参戦しているCROCKERさんとHERRIDGEさんがやってきて大騒ぎしながら記念撮影。

明日9/1はワークショップにて、今日のテストランをうけての細かな修正とガソリントankの修理、ステッカー貼り、膨大なスペアパーツの仕訳とパーツトラックへの積み込み作業などなど作業をします。またドライバーはレッキ（実際の本番コースの試走）に向かうため、数名の学生はレッキに同行します。

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 23:00 09/01

9/1 ワークショップでの仕上げ作業



先発隊5日目、学生本隊2日目、今日はワークショップ（ラリーカーの整備作業のために借りた作業スペース）で1日ラリーカーの総仕上げにかかります。



ラリーカーの仕上げ作業とともに重要なのが日本から持ってきたスペアパーツ類の管理と、パートトラ

ックへの積み込み。1分1秒を争うサービスは、パーツ類の管理が作業効率を大きく左右します。



昨日のテストランで発生した2号車のガソリン漏れはタンクの亀裂ではなく、フューエルポンプの部品交換で解消。



テストランを終えて最終の工程が、車高調整やドライブシャフト交換、エンジン、ミッション、デフのオイル交換、そして下回り各部のトルクチェック、ステッカー貼りなどなど。

豊富な経験を持つパース市在住のラリーメカニック、ジョン・リドルさん。今年はいじめてメカニックサポートとしてチームに参加しました。さっそく学生たちに車高調整をレクチャー。



presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081

<HTML>

<HEAD>

<META NAME="GENERATOR" CONTENT="Adobe PageMill 3.0J Mac">

<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html;CHARSET=x-sjis">

<META NAME="KEYWORDS" CONTENT="自動車,短大,整備士,WRC,チャレンジ,世界ラリー,オーストラリア,夢">

<META NAME="DESCRIPTION" CONTENT="世界ラリーに学生チームで参戦している高山短期大学公式ホームページ。">

<TITLE>2003現地レポート</TITLE>

</HEAD>

<BODY BGCOLOR="#ffffff"

BACKGROUND="../../DATA%83t%83H%83%8B%83_/HP%83t%83H%83%8B%83_/HP/2001wrc/images
/check.gif">

<P><CENTER>

<IMG SRC="2003bana.jpg" WIDTH="500" HEIGHT="97" ALIGN="BOTTOM"

BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3">

2003

高山短大WRC参戦

現地レポート

<TABLE WIDTH="450" BORDER="0" CELSPACING="0" CELLPADDING="0"

HEIGHT="19">

<CAPTION ALIGN="TOP">高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えしま
す。</CAPTION>

<TR>

<TD COLSPAN="2">

<P><CENTER><TABLE WIDTH="450" BORDER="0" CELSPACING="2" CELLPADDING="3">

<TR>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="15%"></TD>

<TD WIDTH="15%"></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></TD>

</TR>

</TABLE>

<TABLE WIDTH="640" HEIGHT="79" BORDER="0" CELSPACING="0" CELLPADDING="0">

<TR>

<TD HEIGHT="19"></TD>

<TD>

<P ALIGN=RIGHT>最終更新: 23:45 09/02</TD>

</TR>

<TR>

<TD WIDTH="88" BGCOLOR="#0000ff" HEIGHT="20">9/2</TD>

<TD WIDTH="511" BGCOLOR="#0000ff">ワークショップでの仕上げ作業

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="19"></TD>

<TD></TD>
</TR>
<TR>
<TD HEIGHT="20"></TD>
<TD></TD>
</TR>
</TABLE></CENTER></P>

<P><CENTER><TABLE WIDTH="600" BORDER="0" CELSPACING="0" CELLPADDING="5"
HEIGHT="2536">

<TR>
<TD HEIGHT="248" WIDTH="300"><IMG
SRC="0902/DSC00036.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM"
BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
<TD WIDTH="300" HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00006.JPG" WIDTH="300"
HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
</TR>

<TR>
<TD HEIGHT="128" VALIGN="TOP" WIDTH="300">

<P>先発隊6日目、学生本隊3日目、今日もワークショップ（ラリーカーの整備作業
のために借りた作業スペース）での作業。明日の車検に備えて最終チェックです。</P>

<P>
</TD>
<TD VALIGN="TOP" WIDTH="300" HEIGHT="128">やるべきメニューはたくさん。

トルクチェック、GPS取付、エンジン最終チェック、タイヤの空気圧チェック、ステッカー貼付、フ
ァーストエイド（救急箱）や消火器等の車載品の確認と固定、電装系（ヘッドライト等）の作動確認、
ナビ用フットレストの調整、インタークーラー用予備水タンク固定、レインエックス塗布、シートおよ

びシートベルトの調整、などなど。。

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248" WIDTH="300"></TD>

<TD WIDTH="300" HEIGHT="248"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="100" VALIGN="TOP">

<P>トルクチェックは下回りの各ボルトが正しく規定の力でしっかり締まっているかをひとつひとつ確認し、白マジックでマーキング。</P>

<P>

</TD>

<TD VALIGN="TOP" HEIGHT="100">GPSは後部トランクに規定の方法で設置します。競技中のラリーカーの転倒などの大事故の際、それを瞬時に感知してヘリコプターによる迅速な救急活動が行えるよう、GPSの搭載が全車に義務づけられているのです。

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248"></TD>

<TD HEIGHT="248"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="72" VALIGN="TOP">このラリー参戦の指揮にあたる先生たち。

チーム総監督で自動車工学科の逸見先生と、同じく坂井先生。刻々と変わる状況にスタッフと協力して問題をひとつひとつクリアしていきます。

</TD>

<TD VALIGN="TOP" HEIGHT="72">

<P>1996年以来ずっとチームをサポートしてくれるアランアダムスさん。コンプレッサーが壊れたと聞いて、代替品を調達してくれました。こうした表には現れない縁の下の力ひとつひとつがラリーを支えています。</P>

<P>

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/IMG_1614.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"

ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00051.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"

ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="72" VALIGN="TOP">なんと1996年、高山短大の初めてのWRC挑戦をした初代メンバー、長野麻里さん（自動車工学科卒）がやってきました。現在、シドニーに滞在中の彼女、8年ぶりのWRCです。

（左：長野さん、右：逸見監督）

</TD>

<TD VALIGN="TOP" HEIGHT="72">この日の昼食はハンバーガー、ポテト、コーラ。作業しずめの学生たちもやっと一息ついて笑いが絶えません。</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00042.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"

ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00040.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
</TR>

<TR>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00039.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00045.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
</TR>

<TR>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00063.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00077.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>
</TR>

<TR>
<TD HEIGHT="98">

<P>この日の夕方、レッキを終えてワークショップに戻った1号車遠藤さん、2号車
ジムさんは、仕上がっていくそれぞれのラリーカーを自らチェックし、学生たちとドライバーシートの
調整やGPSスイッチの取付け位置などを指示していました。</P>

<P>
</TD>
<TD HEIGHT="98"></TD>

</TR>
<TR>
<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0902/DSC00024.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

<TD HEIGHT="248"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="21" VALIGN="TOP">雨期であるはずなのに、レッキをしてみると路面は想像以上にハードでドライ。用意してきたウェット&ドライ用タイヤと、完全なウェット用タイヤをどう選択するか。。天候を見ながら難しい選択になりそうです。</TD>

<TD HEIGHT="21" VALIGN="TOP">解消したとはいえ2号車のガソリン漏れやタイヤの選択など不確定要素を抱えながら、総仕上げのメニューは無事終了。あと待っているのは明日のターボシーリングと車検。夢の世界ラリーに参戦するための最後のハードルに望みます。</TD>

</TR>

<TR>

<TD COLSPAN="2" HEIGHT="30"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="30"></TD>

<TD HEIGHT="30"></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></P>

<P><CENTER></CENTER></P>

<P><CENTER></CENTER></P>

<P><CENTER><TABLE WIDTH="640" HEIGHT="53" BORDER="0" CELSPACING="0" CELLPADDING="0">

<TR>

<TD HEIGHT="33" WIDTH="69"> </TD>

<TD WIDTH="570">


```

        </FONT></TD>

</TR>

<TR>

    <TD HEIGHT="19" WIDTH="69"></TD>

    <TD WIDTH="570"></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></P>

<P><CENTER><TABLE WIDTH="640" HEIGHT="19" BORDER="0" CELLSPACING="0"
CELLPADDING="0">

    <TR>

        <TD HEIGHT="18"></TD>

        <TD>

            <P ALIGN=RIGHT><FONT SIZE="-1"><A HREF="index.html">▼もどる</A></FONT></TD>

        </TR>

    </TABLE><BR>

    </CENTER></P>

<P><CENTER> <B><FONT SIZE="-1">presented by Takayama College<BR>

<BR>

高山短期大学<BR>

<A HREF="mailto:info@takayamacollege.ac.jp">info@takayamacollege.ac.jp</A></FONT></B><BR>

<FONT SIZE="-2">〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地<BR>

tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081</FONT></CENTER>

</BODY>

</HTML>

```

<HTML>

<HEAD>

<META NAME="GENERATOR" CONTENT="Adobe PageMill 3.0J Mac">

<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html;CHARSET=x-sjis">

<META NAME="KEYWORDS" CONTENT="自動車,短大,整備士,WRC,チャレンジ,世界ラリー,オーストラリア,夢">

<META NAME="DESCRIPTION" CONTENT="世界ラリーに学生チームで参戦している高山短期大学公式ホームページ。">

<TITLE>2003現地レポート</TITLE>

</HEAD>

<BODY BGCOLOR="#ffffff"

BACKGROUND=" .././DATA%83t%83H%83%8B%83_/HP%83t%83H%83%8B%83_/HP/2001wrc/images
/check.gif">

<P><CENTER>

<IMG SRC="2003bana.jpg" WIDTH="500" HEIGHT="97" ALIGN="BOTTOM"

BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3">

2003

高山短大WRC参戦

現地レポート

<TABLE WIDTH="450" BORDER="0" CELLSPACING="0" CELLPADDING="0"

HEIGHT="19">

<CAPTION ALIGN="TOP">高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えしま
す。</CAPTION>

<TR>

<TD COLSPAN="2">

<P><CENTER><TABLE WIDTH="450" BORDER="0" CELLSPACING="2" CELLPADDING="3">

<TR>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="14%"></TD>

<TD WIDTH="15%"></TD>

<TD WIDTH="15%"></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></TD>

</TR>

</TABLE>

<TABLE WIDTH="640" HEIGHT="79" BORDER="0" CELLSPACING="0" CELLPADDING="0">

<TR>

<TD HEIGHT="19"></TD>

<TD>

<P ALIGN=RIGHT>最終更新: 25:15 09/03</TD>

</TR>

<TR>

<TD WIDTH="88" BGCOLOR="#0000ff" HEIGHT="20">9/3</TD>

<TD WIDTH="511" BGCOLOR="#0000ff">車検、レッキ終了

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="19"></TD>

```
<TD></TD>

</TR>

<TR>

  <TD HEIGHT="20"></TD>

  <TD></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></P>
```

```
<P><CENTER><TABLE WIDTH="600" BORDER="0" CELSPACING="0" CELLPADDING="5"
HEIGHT="1617">

<TR>

  <TD HEIGHT="248" WIDTH="300"><A HREF=" ../2003WRC%83t%83H%83%8B%83_"><IMG
    SRC="0903/DSC00082.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM"
    BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></A></TD>

  <TD WIDTH="300"><IMG SRC="0903/DSC00096.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
    ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

</TR>

<TR>

  <TD HEIGHT="58" VALIGN="TOP" WIDTH="300">

    <P><FONT SIZE="-1">先発隊7日目、学生本隊4日目、今日は車検。</FONT></P>

    <P><FONT SIZE="-1"> </FONT>

  </TD>

  <TD VALIGN="TOP" WIDTH="300">

    <P><FONT SIZE="-1">ジャラデール・サービスパークにある車検場。ここでラリーの競技規定を満た
    することができないクルマは出場ができなくなります。スタートランプへの最後の関門がこの車検です。
    </FONT></P>

    <P><FONT SIZE="-1"> </FONT>
```

```

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248"><IMG SRC="0903/IMG_1619.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225"
ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

<TD><IMG SRC="0903/IMG_1625.JPG" WIDTH="300" HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM"
BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="44" WIDTH="300" VALIGN="TOP">

<P><FONT SIZE="-1">車検開始してすぐ、2号車のヘッドランプのリレーが突然動作不良に。

</FONT></P>

<P>

</TD>

<TD WIDTH="300" VALIGN="TOP"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="248" VALIGN="TOP"><IMG SRC="0903/DSC00086.JPG" WIDTH="300"
HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></TD>

<TD VALIGN="TOP"><FONT SIZE="-1"><IMG SRC="0903/IMG_1628.JPG"
WIDTH="300" HEIGHT="225" ALIGN="BOTTOM" BORDER="0" NATURALSIZEFLAG="3"></FONT>

</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="30">

<P><FONT SIZE="-1">1号車に搭載する消火器が規定量に足りないことが判明。 </FONT></P>

<P><FONT SIZE="-1">

</FONT>

```

</TD>

<TD></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="247"></TD>

<TD></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="86" VALIGN="TOP">ターボシーリングとは、ターボのリストリクター（エンジンへの吸気を制限する装置）の径に一定基準を設け、検査官の認定を受けた証明となるFIAの検査プレートを取り付ける検査作業のこと。

</TD>

<TD VALIGN="TOP"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="247"></TD>

<TD></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="70">

<P>レッキは本日で無事終了。</P>

<P>これは競技者用のロードブック。各SSのコースの情報が記載されています。

</TD>

<TD>1号車コ・ドライバー、加納さんのレッキで作成したペースノートの下書き。
レッキとは練習走行に加えて、コース状態の確認やペースノート作りも大切な仕事。</TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="30"></TD>

<TD></TD>

</TR>

<TR>

<TD COLSPAN="2"></TD>

</TR>

<TR>

<TD HEIGHT="30"></TD>

<TD></TD>

</TR>

</TABLE></CENTER></P>

<P><CENTER></CENTER></P>

<P><CENTER></CENTER></P>

<P><CENTER><TABLE WIDTH="640" HEIGHT="53" BORDER="0" CELLSPACING="0"
CELLPADDING="0">

<TR>

<TD HEIGHT="33" WIDTH="69"> </TD>

<TD WIDTH="570">

</TD>

</TR>

<TR>
 <TD HEIGHT="19" WIDTH="69"></TD>
 <TD WIDTH="570"></TD>
</TR>
</TABLE></CENTER></P>

<P><CENTER><TABLE WIDTH="640" HEIGHT="19" BORDER="0" CELSPACING="0"
CELLPADDING="0">

<TR>
 <TD HEIGHT="18"></TD>
 <TD>
 <P ALIGN=RIGHT>▼もどる</TD>
</TR>

</TABLE>

</CENTER></P>

<P><CENTER> presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地

tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081</CENTER>

</BODY>
</HTML>



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の様様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 23:45 09/04

9/4 Part I ラリー開幕



いよいよラリー開幕！
ラリーカーも仕上がり、あとは夜6時30分のスタートを待つだけ。恒例によってチームの写真撮影です。今年はサウスパークの公園からパースの中心街にそびえ立つ摩天楼をバック。



ゼッケン113、1号車。
ドライバー、遠藤道康さん（本学自動車工学科卒業生）
コ・ドライバー、加納靖之さん。



ゼッケン114、2号車。
ドライバー、ジムマーデンさん。
コ・ドライバー、グレイマーシャルさん。

本学のラリーカーで誰もが目を引くのが、自動車各メーカーのステッカー。特定のメーカーによらず、すべてのメーカーの車種を勉強する自動車の短期大学ならではの。



写真撮影の合間にも本番前の最終チェック。

ジムさんはドライバーシートのセッティングなどを
学生と確認中。



ラリーカーのアンテナに取り付けられた毎年恒例の「さるぼぼ」。大学のある飛騨高山の代表的な民芸品です。完走へのお守りとして、ドライバーへの安全のお守りとして、学生たちの願いが込められているのです。

[9/4 Part II](#)

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 24:30 09/04

9/4 Part II ラリー開幕 (SS1)



これまでのラングレーパークに代わってラリーの主会場となるのは、パース市のイーストパースにあるグロセスターパーク。



例年とは違い、今年は大会スケジュールの変更によってスタート直後のサービスがなくなりました。学生たち全員はグロセスターパークのギャラリースタンドから、ラリーカーがスタートする瞬間を待ちます。





午後6時30分（現地時間）すぎ、1号車がスタートランプに。



続いて2号車がスタートランプに。
夢にまでみた世界ラリー選手権に手が届いた瞬間です。





その後、ワークスチームの走りにスタンドは大興奮。マキネン、マクレーの一騎打ちや、サインツとバーンズの対決など、世界の走りを目の当たりにしたのです。

そしてラリーは恒例の打ち上げ花火で、この日を無事終了。明日からは本格的に厳しいラリーが始まります。学生たちの最初のサービスも待っています。今まで勉強してきたことをいよいよ発揮する時。完走目指して、がんばれ学生たち。

今夜のSS1を終えて
2号車 ジムマーデン・グレイマーシャル 36位。
1号車 遠藤道康・加納靖之 41位。

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 24:30 09/05

9/5 Part I **LEG1 (SS2-SS10)**



ラリー2日目、LEG1は総走行距離の半分近くを走る長く厳しいステージ。学生たちは1日、ジャラデルのサービスパークでラリーカーのサービスをします。



これが世界ラリーにきて初めてのサービス。「今まで勉強してきたことが試される時だ。」逸見監督から檄が飛びます。その向こうでは、サービスインまでまだ30分もあるというのに、ギャラリーが集まってきて、高山短大のサービスを待っています。



シュコダ、フォード、シトロエン、など世界チャンピオンを争うワークスチームのプロメカニックたち。学生たちのサービスを「情熱的（enthusiastic）」「ヨーロッパでは見られない、緊密で連携のとれたチームワーク」「新鮮」と、感心して見えています。



高山短大のチームステッカーを手に入れてカメラに微笑むシトロエンのメカニック。



スバルラリーチームジャパン、勝田選手のチームで活躍するマレーシア出身のプロメカニックの方が、学生たちのところへやってきて、「サービスは安全が第一。安全を考えていればすべてがうまくいく」と教えているところ。世界ラリーのプロメカニックの言葉です。



大学の学生や職員の観戦ツアーが学生たちを応援にやってきて合流。





タイヤメーカー、ミシュランのエンジニアも学生たちのテントを訪問。



授業で参戦している学生たちのことを知って、オフィシャルの好意でワークスチーム・スバルのテント内部を見学できることに。

テントの中では10数台の端末に、今走っているラリーカーのデータが次々と分析されています。高山短大の1号車が今どこを走っているのか、コース上で表示してくれて見せているところ。
(詳細は後日の更新で)

[9/5 Part II](#)

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 24:30 09/05

9/5 Part II LEG1 (SS2-SS10)



LEG1を順調に走りはじめた1号車でしたが、SS7を終えたこの日3回目のサービス直前、右フロント下回りを強打し異音がする、走りも安定しない、という連絡が。サービスは一気に慌ただしくなります。



続いてサービスインした2号車は大きなトラブルもなく、快調に順位を上げていきます。



今年のラリーオーストラリアでは路面状態に合わせて急きょグリップ力を高めるために溝の幅を大きく加工したカットタイヤを使い分けています。



タイヤだけでなく、あらゆるパーツを管理するパーツ担当の学生がいてはじめて、効率の良い作業環境が生まれるのです。



現地でチームの食事の世話をしてくれる現地スタッフ、ミルトンさん（右）とその娘エマさん。



2号車ジムさんの奥さん、ジェーンさん（中央）、ロズリーさん（右）

ジムさん、アランさん、ミルトンさんの奥様3名は自称「バーガー・クイーン」。豪快なバーベキューでチームをもてなしてくれます。





1号車の右フロント下回り強打によるダメージは、修復のためのあらゆる場面を想定しながら、サービスインしてくると素早くジャッキアップ。タイヤを外し、車体の下に潜って症状の確認と対応の方法を探ります。やがて現時点で走行に大きく影響しないと判断。次の4回目の45分という最長のサービスでアンダーガードを外し再度入念な下回りのチェック。そしてストラット交換、エンジンオイルとミッションオイルの交換などを行った結果、1号車は無事残りのSSを総合32位で走りきりました。

LEG1を終えて

2号車 ジムマードン・グレイマーシャル 30位。

1号車 遠藤道康・加納靖之 32位。

エントリー56台、出走は49台。

リタイヤ10台。残っているのは39台。

2号車は順調に順位を上げ、総合30位でLEG1を終了。ラリーが始まったばかりのLEG1の結果としては過去最高のポジションです。

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003
高山短大WRC参戦
現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 25:30 09/06

9/6 Part I **LEG2 (SS11-SS20)**



LEG2、SS13、1号車。昨日の下回りを強打に加えて、SSを重ねるごとにターボの出力がダウン。



SS13、2号車。
大きなトラブルはなく、細かな不具合に対応しながら、順調に走っています。



SS16、1号車。「アクセルを目一杯踏んでもパワーが上がらない、めちゃくちゃしんどい」(1号車遠



SS16、2号車。

藤ドライバー)
下回りの強打によってマフラーが圧迫され、排気がうまうまなくなかったことで、ターボが十分に機能しないものと判断。



1号車のマフラーをフロントからリアまで全て交換（アッセンブリ交換）するという、インタークーラーの脱着やターボチャージャーへの脱着も伴う困難な作業にもかかわらず、学生たちは見事な集中力で45分間の制限時間の中うちに作業を完了。

昨日まで、世界ラリーにきてそのスケールの大きさや夢の舞台に少し舞い上がっていた部分のあった学生たち。昨夜、先生からのキツイー言「世界ラリーを楽しむだけの「オタク」ならいらない。メカニックは遊びではない」。



SS20、1号車。

SS20、2号車。



SS20、1号車。

SS20、2号車。



この日、最後のSSとなるSS20を終えた直後、コース上からスタンド向かって、遠藤ドライバーが手を振ります。その先にいるのは、サービスを終えてスタンドに駆けつけた学生たち。パークに大きな拍手が起こります。

LEG2を終えて
2号車 ジムマードン・グレイマーシャル 27位。
1号車 遠藤道康・加納靖之 29位。

エントリー56台、出走は49台。
リタイア15台。残っているのは34台。

前期4月からはじまった「実践ラリー」「海外ラリー実習」は明日LEG3でついに最後の授業を迎えます。世界ラリーの夢のゴールランプに向かってあと1日がんばれ。

[▼もどる](#)

presented by Takayama College

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081



2003 高山短大WRC参戦 現地レポート

高山短大のWRC参戦の模様を現地パースからお伝えします。

最終更新: 18:30 09/07

9/7 LEG3 (SS21-SS24)

9/7、高山短大の2台のラリーカーはラリー最終日となるLEG3を無事に走りきり、見事8年連続の世界ラリー完走を果たしました。

2号車 ジムマードン・グレイマーシャル組が総合25位完走。(暫定)

1号車 遠藤道康・加納靖之組が総合28位完走。(暫定)

エントリーは全56台、出走は49台、うち完走は32台。

2003年のWRC（世界ラリー選手権）第10戦ラリーオーストラリアは、最後までローブ（シトロエン）と熾烈なトップ争いをしたソルベルグ（スバル）が優勝して幕を閉じました。そして現地時間午後5時すぎ、高山短期大学のラリーカーがゴールランプに上がると、学生全員がゴールランプに駆け上がり、ラリーカーを囲んでシャンペンファイト。集まった観衆から盛んに拍手を受けていました。その後ラリー主会場だったグロセスターパークに戻り、チーム全員でシャンパンかけなどをして、厳しく長かった世界ラリーの完走を喜びあいました。授業として前期4月から「実践ラリー」を、ラリー本番を「海外ラリー実習」として取り組んできた世界ラリー参戦でしたが、学生たちは世界の大舞台の上で懸命にラリーカーをサポートし、ドライバーも学生たちの気持ちに応えて、2台とも完走という大きな授業成果をあげることができました。

期間中、インターネットの掲示板やメールでたくさんの方から応援を頂きました。遠い現地にいる学生たちの励みになったことは言うまでもありません。またこれまで数々のご支援・ご協力でチームと大学を支えて下さった関係の皆さんに感謝いたします。



ローブ（シトロエン）



ソルベルグ（スバル）



ついに、夢は現実のものとなりました。ラリーは4日間の競技ですが、学生たちは4月から授業とトレーニングを続け、夏休み返上で練習してきたのです。ゴールランプはその授業の集大成です。学生たちおめでとう。
2003年 WRCラリーオーストラリアに挑戦する「実践ラリー」「海外ラリー実習」は、見事8年連続完走で幕を閉じました。応援して下さいた皆さまに心より感謝いたします。

[▼もどる](#)

高山短期大学

info@takayamacollege.ac.jp

〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155番地
tel 0577-32-4440 / fax 0577-32-4081